トンガ王国における活動

すべての人々に平等で
質の高い医療を！

カワムラ歯科医院・南太平洋医療隊
河村康二
kawamura@pb3.so-net.ne.jp
Ｔｅｌ：０４８－２５６－０１１８
Ｆａｘ：０４８－２５６－０１３０

国際保健

① 国や地域によって健康水準や保健医療の発達程度に**大きな格差**がある

貧困；所得格差

経済・教育の発展の程度

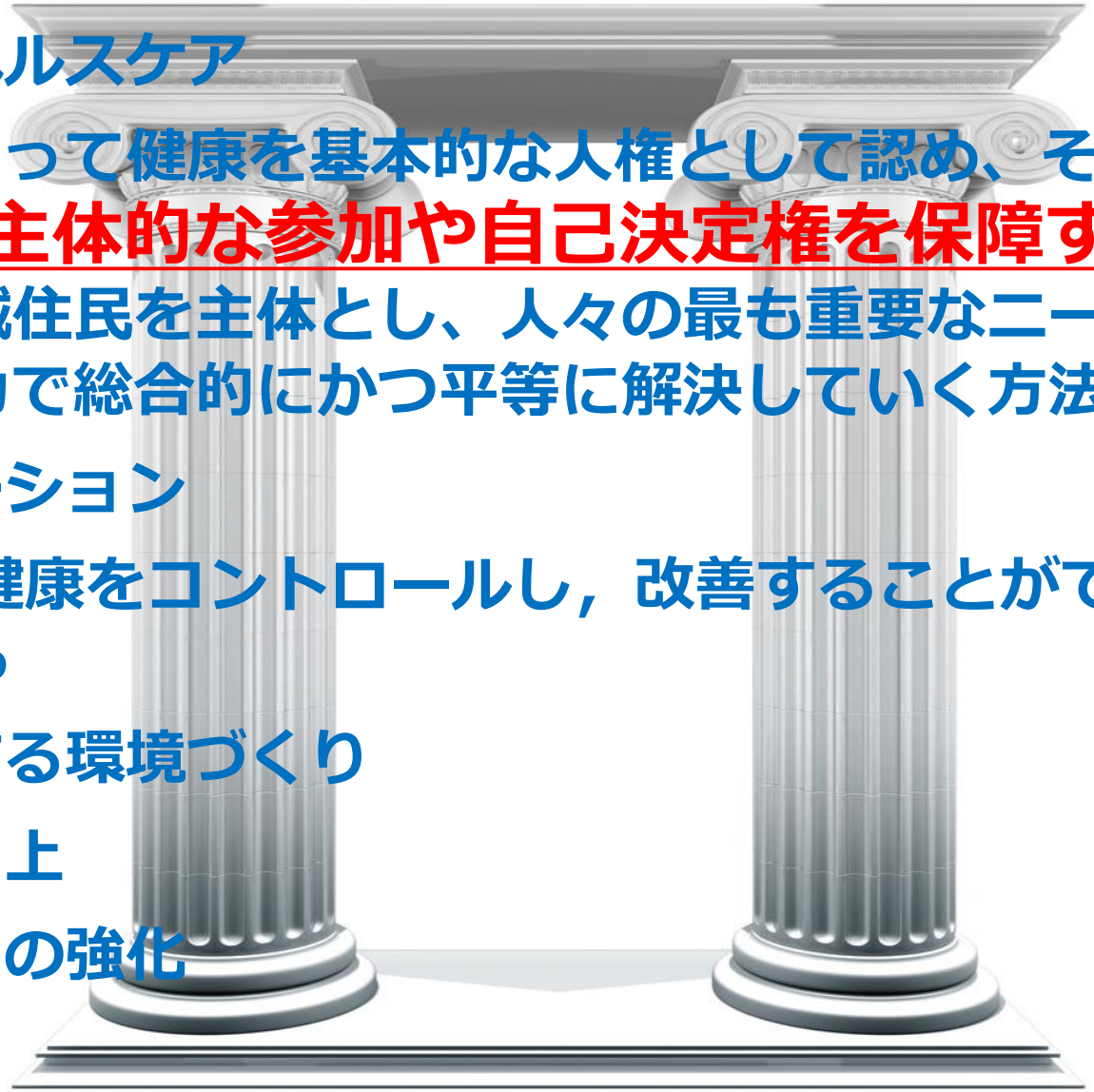
政府の健康問題に対する考え

地理的条件・交通手段発達の程度

宗教や風俗習慣など

tonga王国は中所得国
US$ 1,906以上
US$ 3,945以下

総ての人々に健康を（Health for All）実現するための２つの柱



１プライマリーヘルスケア

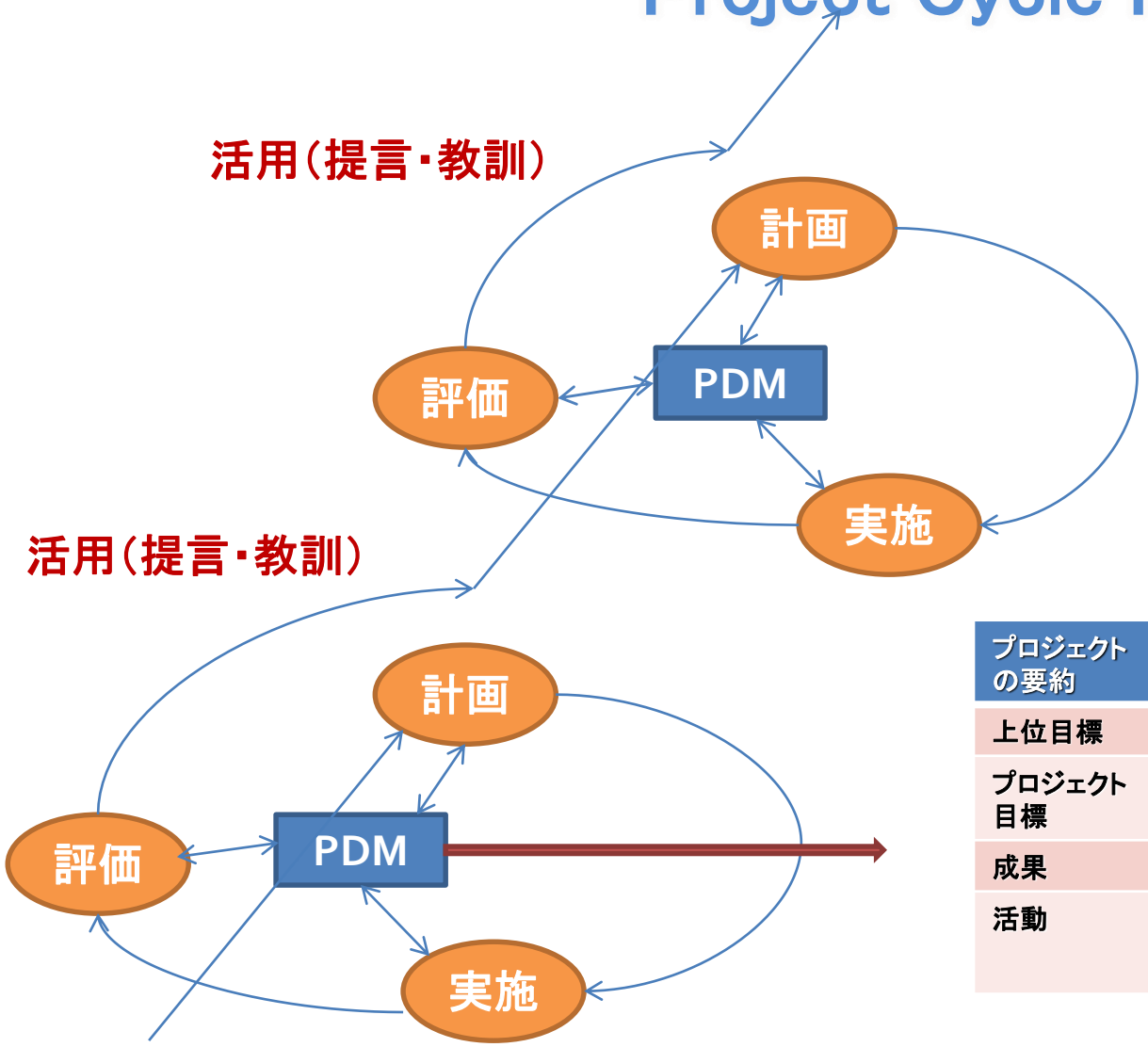
すべての人にとって健康を基本的な人権として認め、その達成の過程において**住民の主体的な参加や自己決定権を保障する理念**であり、そのために地域住民を主体とし、人々の最も重要なニーズに応え、問題を住民自らの力で総合的にかつ平等に解決していく方法論・アプローチ

２ヘルスプロモーション

人々が自らの健康をコントロールし，改善することができるようにするプロセスである

- 健康を支援する環境づくり
- 個人技術の向上
- 住民組織活動の強化

PCM（ProjectDesignMatrix）手法：
Project Cycle Management

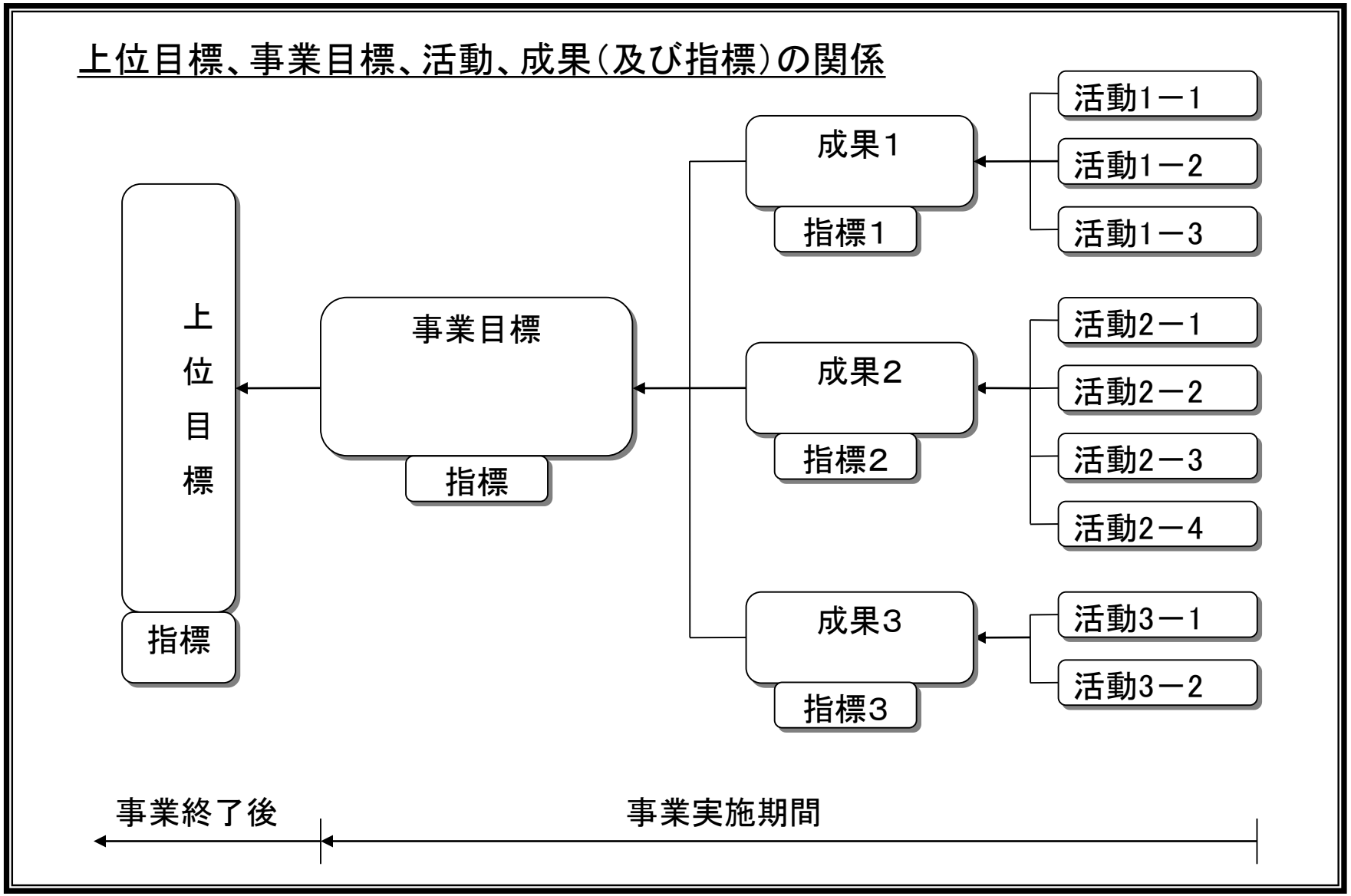


（PDMの概要）

プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
上位目標			
プロジェクト目標			
成果			
活動	投入		
			前提条件

FASIDより

プロジェクトデザインマトリックス（PDM）



JICAより

様式A

別添4-1

案件進捗表 （ 平成25年次第 4 四半期）

プロジェクト目標				活動実績（第 4 半期）
達成すべきOutput	活動内容		活動時期（平成24年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 / 平成25年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 / 平成26年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 / 平成27年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 / 平成28年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3）	
Output1 活動従事者（歯科・医科スタッフ）は口腔保健と生活習慣病の関係を理解し、生活習慣改善の指導ができるようになる（担い手の育成・能力の向上と連携システムの確立）	1-1)意識変化・行動変化を把握するため、活動前・中・後に質問紙調査を行う	P A		
	1-2)活動従事者（歯科スタッフ・医科スタッフ）に対し歯周病と生活習慣病との関係を周知し、生活習慣改善の取り組みを実施するためワークショップを開催する	P A	エウア,ハーバイ,ババウ / エウア,ハーバイ,ババウ	・ワークショップの様子
	1-3) 活動従事者（歯科スタッフ）に歯周病検診、歯周病予防処置の実技（実施）研修を行う	P A		・実技研修の様子
	1-4) 医科スタッフは生活習慣病リスク者に歯科受診を勧告する	P A		・医科からの依頼と一日の歯科への来院患者数
	1-5) 口腔保健と生活習慣改善のための普及啓発活動を行い、媒体を活用する（リーフレット、ポスター等広報媒体の作成）	P A		・歯周病リーフレット作成と新規受診者へ配布
	1-6) 歯科スタッフは歯周病の治療を取り入れた処置を行う	P A		・治療処置の様子
	1-7) 歯周病治療とスタッフ教育のため症例集を作成する	P A		・来院した患者の事前、事後の状態の記録を作成する
	1-8) 従来のマリマリプログラム（学校歯科保健活動）に生活習慣改善の取り組みを導入する	P A		・小学校巡回のマリマリ活動に医科スタッフが同行
	1-9) 不参加者、中止者から意見を聞き取る	P A		
		P A		
Output2 生活習慣改善の早期対策として中高生対象の口腔保健啓発活動が確立されている	2-1)中高生に意識変化・行動変化を把握するため、活動前・中・後に質問紙調査を行う	P A		・クイーンサローテ高校、アテレ高校に対して実施
	2-2)教育省と協議し活動内容を確認する	P A		・教育省と保健省歯科スタッフが協議
	2-3)中高生に対し、口腔保健と生活習慣改善のためのワーク			

・スケジュール表の作成
PDMの進捗を見守る

何が大変？

- 人
- 金
- 物
- 時間
- プラン
- 仕事との両立

南太平洋医療隊の国内外での活動（1998年から）

日本国内では

- 各学会、協議会にて活動を発表
- グローバルフェスタに参加(10月第１土曜、日曜、日比谷公園）

トンガ王国では

- 学校保健：う蝕予防のためマリマリ（笑顔）プログラムを推進
- マリマリプログラムの為、車輌の寄贈
- 救急車の寄贈、NHK中継車の寄贈
- 障がい者施設デイサービスOTA、入所施設ALONGAでの活動
- 歯周病の改善から肥満と生活習慣病の予防に取り組む

ＪＩＣＡと共同事業

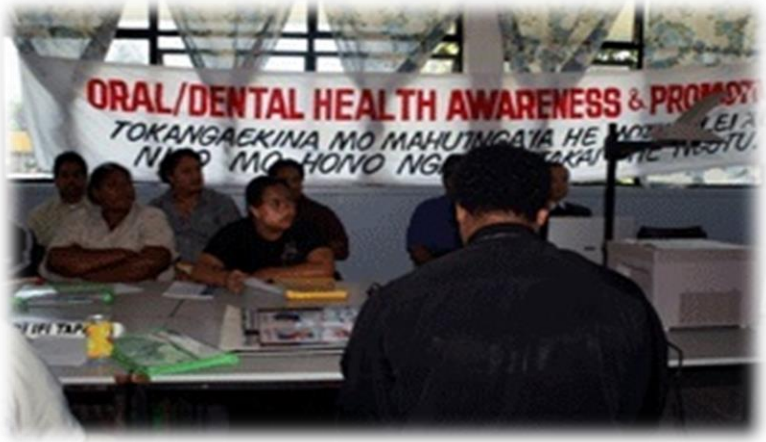
- 2006年：JICA「草の根技術協力事業」（草の根協力支援型）を共同で３年間実施
  「トンガ王国における歯科保健の為のプロジェクト」
- 2010年：ＪＩＣＡ「草の根技術協力事業」（フォローアップ型）
  「トンガ王国における学校歯科保健活動向上の為のプロジェクト」を共同で３年間実施
- 2013年：ＪＩＣＡ「草の根技術協力事業」（パートナー型）
  「トンガ王国における口腔保健のアプローチから生活習慣を改善するプロジェクト」

SPMT activities in Tonga
「トンガ王国における歯科保健の為のプロジェクト」

<マリマリプログラム小学校>

<マリマリプログラム幼稚園>

<2010年8月タンギ大臣と>



<スタッフとワークショップ>

<教師とワークショップ>

<予防歯科室の設置>

SPMT activities in Tonga

<プロジェクトのため車を５台寄贈>

<オーラルフェスティバル>

<障害者施設 OTA and ALONGA>

<高瀬大使から救急車を2台寄贈>

<在トンガ日本大使館・日本外交協会とNHK中継車寄贈>

今までの得られた成果は、永久歯のう蝕の減少

	Sex	Years	
		2001	2011
DMF person rate (%)	Boys	89	65
	Girls	91	73
Mean DMFT	Boys	4.40	2.08
	Girls	5.81	2.38

Table　Prevalence of caries in 12-year-old children in Tongatapu, 2001 and 2011

2008

１０歳児の調査でフッ化物洗口の予防効果は５４．２％

今までの得られた成果は、歯みがき習慣について（２００６年調査）

	家での 歯みがき習慣	フッ化物入り 歯磨剤の使用	昼食後の 歯みがき	マリマリプログラム を知っている
４年生	有　*９４％ 毎食後　３２％ 就寝前　**１８％ 朝のみ　４９％	使う　９９％ 使わない　１％		
教師			させる　６４％ しない　３６％	
保護者				知っている　８８％ 知らない　１２％

2008年*歯みがき習慣有　100%

**就寝前に歯みがきする　63%

1年生　乳歯う蝕罹患　－　ｄmf　指数(2011年)

dmf index	男子			女子		
	5才	6才	7才	5才	6才	7才
トンガタブ本島	７．４２	６．９１	８．３１	６．６４	６．８８	６．８０
エウア島	７．８９	７．７５	４．６６	６．７２	７．９１	６．０
ハーパイ諸島	９．５０	７．６４	２．０	8.58	7.93	–
ババウ諸島	８．８２	８．０７	６．６３	８．３３	６．８５	４．０

「トンガ王国における学校歯科保健活動向上の為のプロジェクト」

歯ブラシの販売

ハブラシの保管

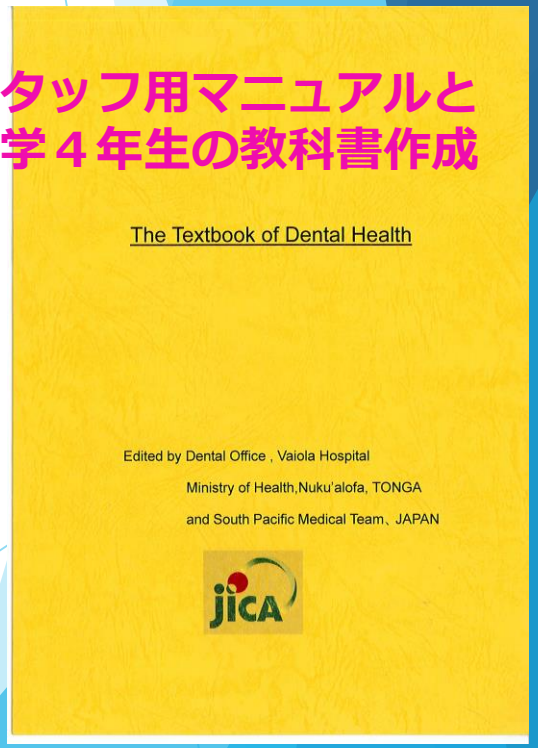
幼稚園教諭による歯科保健講話

保健センターで仕上げ磨き

＜ Saforide ＞

＜フッ化物塗布＞

スタッフ用マニュアルと
小学４年生の教科書作成



ココナッツのpH5.0

高カロリー
高脂質
高砂糖

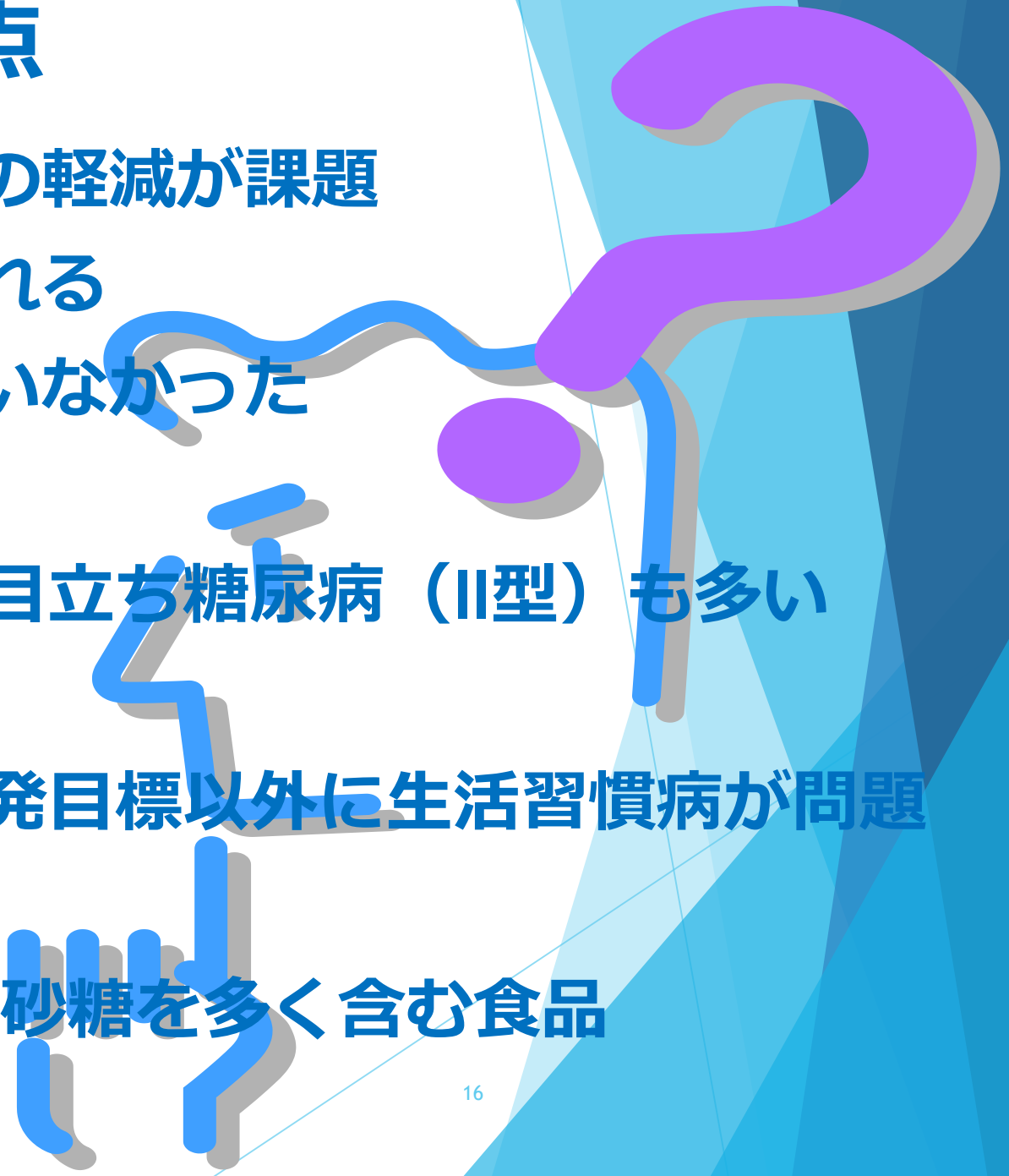
Drink	Running Water	Fru Bu Fruit juice drink (Mango Flavour)	Coca cola	Powerade Isotonic drink (Lemon lime)	Sprite	Ice cool Strawberry (Sparkling drink)	Fanta Raspberry
pH	7.07	2.87	2.43	3.26	3.29	3.17	3.35
Sugar content (100ml)	0	10.4g	10g	6.3g	10.9g	Non-sugar	13g

* pH：potential of hydrogen

トンガでよく飲まれる飲料のPHと砂糖の含有量を示した一覧表

トンガ王国における問題点

- 第１大臼歯のう蝕予防と乳歯う蝕の軽減が課題
- 保存治療されるはずの歯が抜歯される
- 歯周病の問題には未だ取り組んでいなかった
- 生活習慣病の悪化
  - ＊体格が非常によい反面、肥満も目立ち糖尿病（II型）も多い
  - ＊心血管疾患が多い
  - ＊先進国と同じ様にミレニアム開発目標以外に生活習慣病が問題
- 食生活の変化
  - ＊伝統的食物からパン食の拡大、砂糖を多く含む食品
  - ＊清涼飲料の普及



活動に取り入れる二つの考え

キーワード／健康行動、行動変容、アドヒアランス、身体活動・運動、
メンタル・ヘルス、ストレス・マネジメント、保健指導、動機づけ

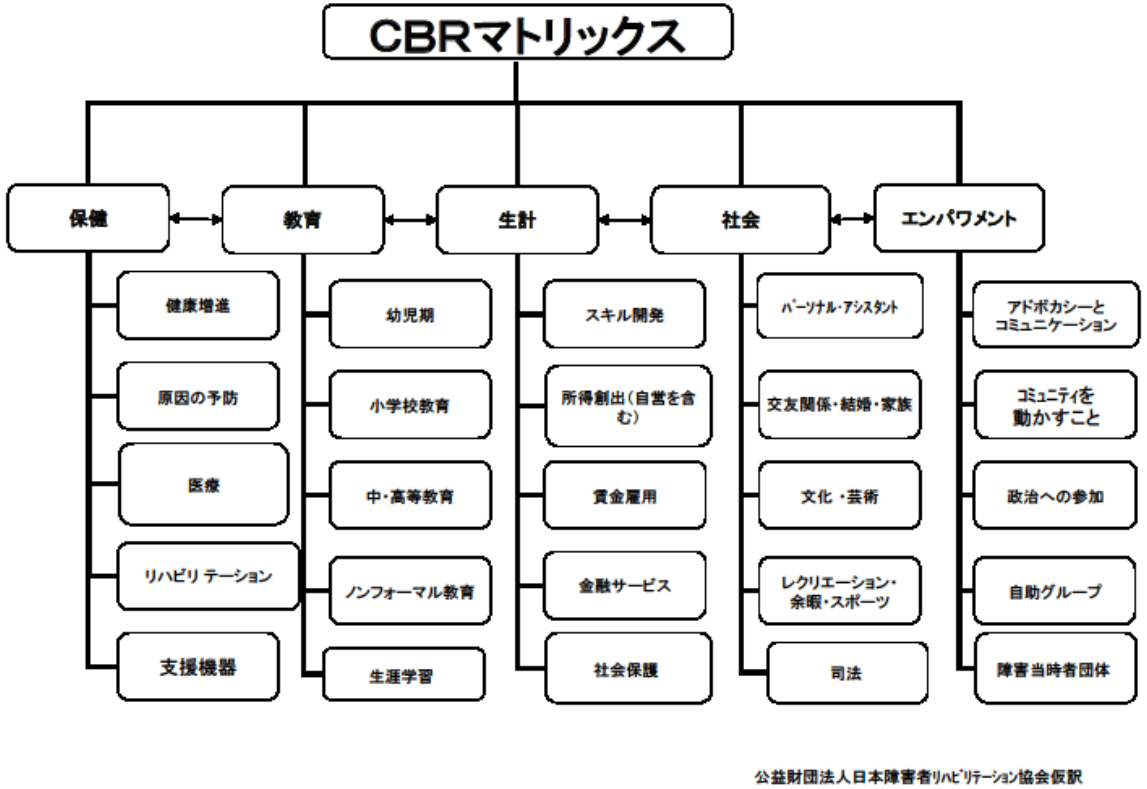
専門分野／専攻分野：健康心理学、応用健康科学、行動変容

ようこそ！竹中研究室WEBサイトへ

私たちは、生活習慣病予防に果たす健康行動全般に関わる心理・行動科学的研究を行っております。

その焦点として、
1）決定因（背景分析）
2）成果（心理 ・生理学的効果の検証）
3）介入（採択・継続のための効果検証）を 3本柱としています。

早稲田大学
大学院人間科学研究科
竹中研究室WEBサイト

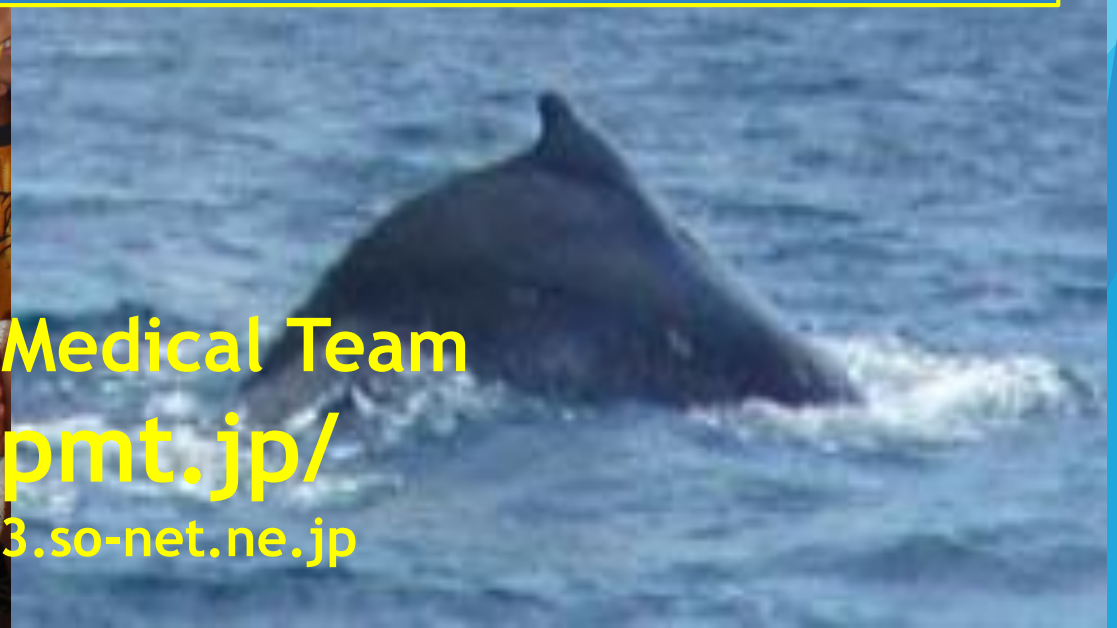


ＪＡＮＮＥＴ（障害分野ＮＧＯ連絡会）
Community-based　Rehabilitation (CBR)

MALO ‘AUPITO

トンガの人々が主体的に実施し自立を目指す為の支援を！

地域に健康観の有る町作りを！



South Pacific Medical Team
http://spmt.jp/
kawamura@pb3.so-net.ne.jp